

京都大学 総長

松本 紘さん

まつもと ひろし

「学問の専門化が進んでいますが、自分の研究領域に専念しなければ競争に勝てない、という考え方は間違いだと思いませんか。山を高くするのではなく、広い野がなくてはなりません。若い頃の読書は、よい友人と語り合うことと同様、人間の幅を広げてくれるのです。2008年10月に京都大学第25代総長に就任。04年に法人化した京大の改革を本格的に推進する「10年間の構想「宇宙太陽発電所」の実現に情熱を燃やす松本紘さんに、思い出の本を語っていただきました。」

科学を志し、哲学に触発される

最初に申し上げますと、私は「Reader」といえるほど、本にめぐりつかった経験がありません。父親は本の虫で、家には岩波文庫の青帯が山と積んでありました。私は坊主でして、そんな方が好きでしたが、父は坊主でしたから。そんな父や兄弟のために、母親は友人の家で借りてきた絵本を書き写して、読み聞かせてくれました。多感な時期のことで、このことは忘れられ

知的関心を、心の内面へ 宇宙へと広げてくれた本

「母の手作りの絵本は、今も大切にしています。小学校低学年の時、私は事故で左目が不自由になり、目に負担をかける読書を心がけるようになりました。流し読みで拾ったキーワードをつなぎ合わせ、自分の知識を総動員して内容を推論するわけです。まずは「見る」感覚で本に接し、面白そうだった部分を読み、「読む」。このような読書法は、読書は苦手だという学生たちにも役立つと思います。京大では電子工学を専攻しましたが、無

宇宙への興味を開いた ポーリング博士の著作

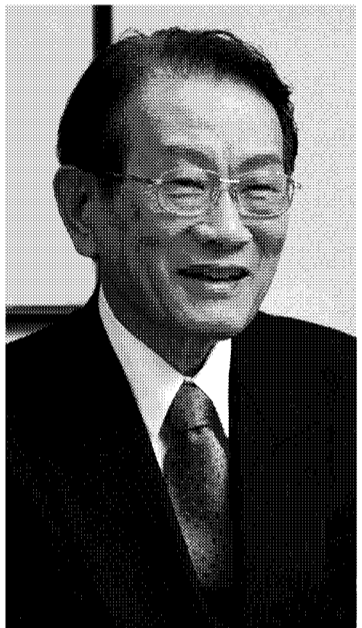
大学の教科書ではノーベル賞を受賞者で、後にノーベル賞にも輝いたライナス・ポーリング博士の化学の基礎に関する著作を面白く読みました。特に私が関心を持ったのは、博士の「宇宙原子説」というものです。これは生命の「胞子」が太陽系の外から飛来し、地球上で進化が

知のリーダーを送り出すことが使命

「学生時代の将来像は、エンジニアを経験して、企業のマネージャーになることでした。人をどう使うか、いかに優秀な投資すべきかに関心があることは、今も変わりません。松本総長は語る。ただ、企業目的が利潤追求であるなら、大学の目的は社会における知的クラスタの使命を果たすことだ。特に京大の場合、知を身につけたリーダーを社会に送り出すことが使命と断言

人類の生存のために 太陽系文明の構築を

「この大学の『いい研究者がほしい』とは言っても、エリートリーダーという言葉はあまり使いません。しかし社会のあらゆる目的の集団において、リーダーは必要です。組織に責任を負う人は何れも非難されるものですが、それに耐えられる基盤を持つ人を育てることが我々の役割です。」



1942年生まれ。学位：京都大学工学博士。65年3月、京都大学工学部電子工学科卒業。67年3月、京都大学大学院工学部修士課程修了。同年4月に京都大学工学部助手。74年4月、助教授。75年9月、NASAエームズ研究所客員研究員。80年7月、スタンフォード大学客員研究員。81年4月、京都大学超高度電波研究所客員教授、その後、同センター教授を経て、2002年4月に宇宙電波科学センター長に就任。04年4月、京都大学学生生活研究部長、教授、京都大学教育研究評議員。05年10月、京都大学理事・副学長。08年10月、京都大学総長。

「再開」されたという説でした。大変な説得力を感じ、宇宙や遺伝子に興味を持つ契機となりました。一方、当時はコンピュータ黎明期で、4年生になった私はソフトウェア開発に携わっていました。任された計算の中には厳密解のないものがありましたが、工学とは実用を優先することを神髄とする学問です。正確な円周率ではなく、3.14で間に合うならそれでよいと教授に諭され、若かった私は、新しい手法を英国の専門誌に投稿、出版されましたが、ソフトウェア

「サステナブル社会」というと聞こえはいいですが、今の社会構造の延長線上で成長を維持することは極めて難しいです。誰かなくともかしてあげたいという考えが、今更には減じているという気が

構成／松身 茂 撮影／長尾 純之助 ■朝日新聞社広告局ウェブサイトでは、松本さんが語るリーダー論を紹介しています。http://adv.asahi.com

松本 紘さんがすすめる5冊

Book recommendations section featuring titles like '善の研究', 'デミングの組織論', '宇宙移民計画', '夢', and '自然科学者のための数学概論' with brief descriptions.

Advertisement for '日本国家の神髄' by Tetsuya Sato, published by Fuzuma Shoten.

Advertisement for '未納が増えると年金が破綻する' by Shinji Honno, published by Fuzuma Shoten.

Large advertisement for '日本の味' (Japanese Taste) by Rumi Aikawa, published by Fuzuma Shoten.

Advertisement for '扶桑社文庫の最新刊' featuring books by Rikudo Sakamoto and Kenji Akiyama.

Advertisement for 'FX理論' (FX Theory) by Kenji Akiyama, published by Fuzuma Shoten.